

平成21年度 都市エリア産学官連携促進事業（発展型）採択地域一覧

（別添3）

地方自治体名	都市エリア名	特定領域	事業期間	中核機関	再委託機関	事業の概要
北海道・帯広市	十勝エリア	ライフサイエンス、環境	5年	（財）十勝圏振興機構	帯広畜産大学、北海道大学、愛媛大学、静岡大学、名寄市立大学、岐阜大学、（独）農業・食品産業技術総合研究機構北海道農業研究センター	『食の機能性・安全性に関する高度な技術開発とその事業化によるアグリ・バイオクラスターの形成』 地域の農畜産物及び加工副産物から機能性素材の抽出技術を確立する。また、地域の農畜産物及び二次加工品の食中毒菌検出のための簡易測定技術を確立する。これらの高度な技術開発とその事業化により、地域で「高付加価値で競争力のある」食品産業群を中心とした十勝型のアグリ・バイオクラスター形成を目指す。
千葉県	かずさ・千葉エリア	ライフサイエンス	5年	（財）かずさディー・エヌ・イー研究所	国立大学法人千葉大学、（独）理化学研究所	『先端ゲノム解析技術を基礎とした免疫・アレルギー疾患克服のための産学官連携クラスター形成』 先端ゲノム科学の研究拠点である「かずさDNA研究所」と、免疫システム統御治療学の国際教育研究拠点である千葉大学等が連携し、免疫・アレルギー疾患克服のための基礎研究から臨床・産業応用研究までの橋渡しを行い、産学官連携のもと治療・診断の効率化・迅速化を実現するとともに新産業の創出を推進し、バイオクラスターを形成する。
岐阜県	岐阜県南部エリア	ライフサイエンス、情報通信	3年	（財）岐阜県研究開発財団	岐阜大学、朝日大学、豊田工業大学、（独）産業技術総合研究所、岐阜県産業技術センター、岐阜県機械材料研究所、岐阜県生活技術研究所	『モノづくり技術とITを活用した高度医療機器の開発』 岐阜県南部エリアは、輸送用機器、電気機器、精密機器の部材製造業が数多く立地し、モノづくり技術やITが発展している。本事業では、高度知識情報処理技術、表面処理技術、生体信号計測技術など、地域の優れた技術シーズを活用して地域企業ニーズに即した高度医療機器を開発し、技術シーズの医療分野への展開とさらなる集積を図るとともに、部材提供型産業から最終製品製造販売型産業への発展を目指す。